埼玉大学紀要　教育学部，61(2):27-44（2012）

スペインにおける公立中学校の宗教科目に関する考察

―宗教科目担当教員への聞き取り調査を中心として―[1)]

村越純子　埼玉大学教育学部教育科学講座(非常勤講師)

キーワード:スペイン、宗教教育、カトリック

1．はじめに

スペインの公教育では、長い間カトリックによる宗派教育という性格をもつ「宗教」科目が唯一独立した科目であり続けた。なぜカトリックなのかを明示しているのは「教育に関する国際協定」[2)]である。同協定は、1979年に国家の宗教教育のあり方についてローマ教皇庁とスペイン政府との合意を確認したものである。その第１条では、宗教教育や道徳教育の決定権が親にあることを尊重し、あらゆる公教育機関はキリスト教倫理や価値を尊重すべきであると規定されている。また第２条では、生徒が宗教を学ぶ権利を保障するため、すべての初等・中等学校はカトリックを教える機会をつくらねばならない、と規定されている。同協定に含まれるこれら２つの条項は今日も有効である。

「教育に関する国際協定」の第1条は憲法第27条第3項に基づいている。そこには「公権力は、親がその子に自らの信念に応じた宗教教育および道徳教育を受けさせる権利を保障する」と示されている。スペインにおいては、子どもの宗教教育および道徳教育の決定権は親にあるのが特徴である。国際的にみてカトリック信者が多かった時期のスペインでは、子どもに対してカトリックに拠る宗教教育を期待する傾向があったことは確かであろう。

1990年代以降、移民が急増し、そのことが宗教科目の在り方に変容をもたらしつつある。なぜなら、移民の多くはカトリック信者ではないからである[3)]。国民党政権下で制定された2002年の「教育の質に関する基本法」（通称LOCE法：Ley Orgánica de Calidad de la Educación)により、公立学校において「宗教」科目に、特定の宗教のための宗教教育を主とするものだけではなく、特定の宗教に拠らない宗教知識教育の性格をもつ「社会、文化および宗教」科目が加えられることになった。同時に、「宗教」科目では宗教の多様性が認められ、カトリック以外の宗教教育も容認されることになった[4)]。

さらに、政権が国民党（Partido Popular）から社会労働党（Partido Socialista Obrero Español）に移り、2006年には「シティズンシップ教育」教科の新設および必修化を宣言した「教育基本法」（通称LOE法:Ley Orgánica de Educación)が制定された。これ以降、宗教に関する科目は特定の宗教のための宗教教育を主とする「宗教」と宗教知識教育の性格をもつ「宗教の歴史と文化」という構成になった。LOE法では、「宗教」科目は、スペイン・カトリック司教協議会だけではなく、スペイン・プロテスタント連盟（la Federación de Entidades Religiosas Evangélicas de España）、スペイン・イスラエル連盟（la Federación de Comunidades Israelitas de España）、およびス

ペイン・イスラム委員会（la Comisión Islámica de España）との合意を得て運営すると規定されている。このことによりプロテスタント、ユダヤ教、イスラム教による特定の宗教のための宗教教育が正式に認められることになった。

これまでのスペインの教育制度をふりかえると、宗教に関する科目は特定の宗教のための宗教教育と宗教知識教育の2本立てに移行しているといえる。両者のうち、上述の長く行われてきた宗派教育の実態を把握することが、スペインの中学校における「宗教」教育を検討するうえで重要な課題と考えた。そこで実際に公立学校5)におけるカトリックに基づく「宗教」の授業を観察し、教授内容や教授方法について担当教員から聞き取り調査を行った。対象としたのはエストレマドゥーラ自治州立アゴラ中等教育学校の「宗教」担当教員である。以下では、まずアゴラ中等教育学校の宗教科目の特色を紹介したうえで、聞き取り調査の内容（「宗教科目担当教員への聞き取り調査の西日対訳」）を紹介し、解説を加える。最後に、本稿をまとめ、今後の課題を述べる。

２．アゴラ中等教育学校と宗教科目

1978年に成立したスペイン憲法により、17の自治州と2つの特別自治都市が成立した。各自治州は教育行政に関する多くの裁量権をもっている。教育科学省は国の教育政策を策定してカリキュラムの標準を作成する一方、各自治州がカリキュラムの全国共通の最低基準を満たしながら、各々の地域に応じたものを作成している。

表1は、自治州別にみた公立中学校における宗教科目設置の割合を示している6)。エストレマドゥーラ自治州では、公立中学校のうちカトリックに基づく「宗教」科目を設置している割合は54.5%である。17自治州のうちアンダルシア自治州、カナリアス自治州に続く第3位である。最も少ない順にみて、カタルーニャ自治州では8.1%、バレアレス自治州では15.4%、バスク自治州では21.7%、首都のあるマドリード自治州では30.3%という状況を考慮すると、エストレマドゥーラ自治州の公立中学校におけるカトリックに基づく「宗教」科目の設置割合は極めて高いことがわかる。ちなみに、エストレマドゥーラ自治州の公立小学校におけるカトリックに基づく「宗教」科目の設置割合は、92.0%で、17自治州のうち第1位である7)。

表1．公立中学校における宗教科目設置の割合

カッコ内はカトリックに基づく「宗教」設置の割合について17自治州における順位を示す	カトリックに基づく「宗教」	他の宗派に基づく「宗教」	「宗教の歴史と文化」	宗教科目無
アンダルシア自治州（1）	60.8	0.3	5.3	33.6
カナリアス自治州（2）	56.2	0.0	0.8	43.1
エストレマドゥーラ自治州（3）	54.5	0.0	2.6	43.0
マドリード自治州（14）	30.3	0.1	6.3	63.3
バスク自治州（15）	21.7	0.0	1.2	77.0
バレアレス自治州（16）	15.4	0.0	1.4	83.1
カタルーニャ自治州（17）	8.1	0.1	-	91.9

出典：本文注6をみよ。

次に、2010-2011年度のエストレマドゥーラ自治州の公立中学校における移民生徒の割合をみよう。現在、スペインには南米だけではなく、東欧、アフリカからの移民が増加しており、かれらは一般に「宗教」を選択しない傾向があるといわれるからである[8)]。

エストレマドゥーラ自治州の公立中学校における移民生徒の割合は4.2%（在籍総数36,665人中1,558人）で、17自治州のうち最下位である[9)]。マドリード自治州のそれは、23.7%（在籍総数120,618人中28,610人）、カタルーニャ自治州のそれが23.3%（在籍総数169,366人中39,401人）と比べると、エストレマドゥーラ自治州は移民の影響を最も受けない地域ということができる。このことが、結果的にエストレマドゥーラ自治州においてカトリックに基づく「宗教」科目が多く設置される要因になっているといえるだろう。

このような特徴をもつエストレマドゥーラ自治州のアゴラ中等教育学校（Instituto de Educación Secundaria Ágora）に本年2012年2月に訪問した。同校は公立中等教育学校の一つで、日本の中学校に相当する4年制のESO（Educación Secundaria Obligatoria）と2年制の高等学校（Bachillerato）の6年間の一環教育を同一校舎内で行っている。高等学校課程と職業訓練課程が設置されており、高等学校課程には科学技術コース、人文コース、社会科学コースが、また職業訓練課程には商業コース、経営コース、商業とマーケティングコース、経営と財務コース、秘書課コースが設置されている。同校は、エストレマドゥーラ自治州教育庁の監督下にある研究モデル校としての性格をもち、エストレマドゥーラ大学教育学部カセレス・キャンパスの教員養成課程との関係も深い[10)]。

アゴラ中等教育学校には、カトリックに基づく「宗教」科目だけが開講されており、宗派に基づかない「宗教の歴史と文化」は開講されていない。2010-2011年度の同校中学校課程の生徒のうち28%（在籍総数195人中、55人）が「宗教」を選択している[11)]。「宗教の歴史と文化」の開講がないのは同科目の受講希望者がいない（いても１人程度とのこと）ためであるという[12)]。

アゴラ中等教育学校の「宗教」の時間割は表2のとおりである[13)]。中学校第１学年には週2時間、第2学年から第4学年までは週1時間程、カトリックに基づく「宗教」科目が開講されている。

表2．アゴラ中等教育学校における「宗教」の時間割

	時間	月	火	水	木	金
1時限	8:30-9:20		中学3年B組	高校1年 社会科学コース	中学4年A組	中学1年B組
2時限	9:25-10:15		中学1年C組	中学1年B組	中学3年A組	中学2年A組
休憩時間	10:15-10:30					
3時限	10:30-11:20	中学2年C組		中学1年C組	中学1年A組	
4時限	11:25-12:15	中学4年B組			中学2年B組	中学1年A組
休憩時間	12:15-12:30					
5時限	12:30-13:20	高校2年 科学技術コース		高校1年 科学技術コース		
6時限	13:25-14:15	高校1年 人文コース				高校2年 人文・社会科学コース

出典：本文注 13 をみよ。

３．聞き取り調査の内容

アゴラ中等教育学校の中学校課程と高等学校課程のすべての「宗教」の時間を担当しているのが、Jesús María Losada Martínez教諭（以下、ロサダ教諭と略す）である。同教諭から、昨年訪問の際に、2010-2011年度の年間指導計画書を得た。その後2011-2012年度の年間指導計画書を得た[14)]。これらの年間指導計画書を、スペイン・カトリック司教協議会公認の中学校用の宗教の学習指導要領の内容と比較検討したところ、第4学年に特徴がみられることがわかった。スペインにおける「宗教」教育の内容を理解するために、改めて2012年2月22日に同校を訪問した。そこで午前11時から12時半までの1時間半にわたり、同校の面接室において聞き取り調査を行った。その内容が、表3に示す「宗教科目担当教員への聞き取り調査の西日対訳」である。聞き取り調査は、33の質問に対する回答で成り立っているので、西日対訳の和訳部分には質問番号と回答番号をつけた。以下、聞き取り調査内容の特徴を述べる際には、回答番号を挙げて解説する。

【宗教科目担当教員の身分】

「教育に関する国際協定」の第3条により、初等・中等学校で「宗教」を担当する教員については、各教区の司教が毎年「宗教」を担当できる力量のある候補者を挙げるので、学校を管理する行政当局はその候補者のなかから担当者を毎年選ぶことになる。このため、宗教科目を担当する教員の雇用上の立場が不安定であることが指摘されている。また、「宗教」を担当する教員は他の科目を担当する教員と同じ待遇が保障されねばならないとの規定があるにも関わらず、同協定で他の科目を担当する教員と等しい身分を保障されたはずの宗教教員と、大学の教職課程を修了した一般科目の教員とでは、公務員ではない者と国家に保障された公務員という立場の違いがあることが述べられている（回答1参照）。

【学習指導要領】

「教育に関する国際協定」に基づき、初等・中等学校におけるカトリックによる「宗教」科目の学習指導要領はスペイン・カトリック司教協議会（Conferencia Episcopal Española）により作成されている。公立中学校で「宗教」を担当する教員は、スペイン・カトリック司教協議会により提示された学習指導要領をそのまま使うのではなく、参考にしつつも、個々の学校のために独自の年間指導計画書を作成できることがわかる（回答3、回答4、回答6参照）。

【裁量の範囲】

初等教育と中等教育とでは、「宗教」科目を担当する教員の自由裁量の度合いにかなり違いがある。初等教育の場合には教授内容や教授方法に一定の制約がある。一方、中等教育においては「宗教」科目を担当する教員に対して、教授内容や教授方法などに柔軟性が認められている（回答5および回答11参照）。

【授業内容と教授法】

実際の「宗教」の授業では、受講生が少人数ゆえのメリットを生かした対話形式が用いられ、個々の生徒の関心と向き合い、双方向の授業に取り組んでいるという（回答4の第5段落以降を参照）。生徒の関心により近づく教授法を選択するゆえの難しさを指摘しつつも、対話形式に基づく授業の有効性が述べられている（回答13の第5段落および回答15の第1段落を参照）。また参加

型授業をするうえで、教育科学省の公式サイトにリンクされた2つのウェブアドレス[15]が有効であるという（回答19および回答20参照）。ただし、これらは教育科学省が独自に教材開発のための開発やその費用負担をしているわけではないことがわかる（回答21、回答22、回答23参照）。なお、2011-2012年度の年間指導計画書の最期に「補完的校外活動」として「トレド都市への旅行」、「グアダルーペ修道院への旅行」そして「サンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼路」が挙げられている。これらの校外活動には、日本の中学校における特別活動の「旅行・集団宿泊的行事」との類似性がみられ、宗派教育に特化しているわけではない（回答25から回答33まで参照）。

【シティズンシップ教育教科との関係】

現在のスペインの教育制度におけるもうひとつの価値教育科目といえるシティズンシップ教育教科を視野にいれつつ、授業内容を構想している（回答13の前半部分参照）。それを授業内容に反映できるのは中学校第4学年と限定されるが、そこでは「生命」や「宗教」というトピックのほかに、「道徳」、「人間の共生」、「エコロジー」、「男女の平等と相違」さらに「人間の性」というトピックが挙げられている[16]。なかでも「人間の共生」という問題は、宗派を超えて普遍的な問題として取り上げることの価値が述べられている（回答17参照）。また「男女の平等と相違」と「人間の性」とを比べると、とくに「宗教」の授業で「人間の性」の問題を扱うことの難しさが述べられている（回答15および回答16参照）。

表3．宗教科目担当教員への聞き取り調査の西日対訳

Traducción del español al japonés de la entrevista al profesor de Religión

Murakoshi: Queremos traducir al japonés el programa del año 2011-2012, que me has dado. Estamos pensando en publicarlo en una revista de enseñanza, que vamos a repartir en cada colegio de primaria y de secundaria. Los lectores de la revista serán los profesores de los colegios de primaria y de secundaria. Para explicar este programa de tipo anual, me gustaría saber la posición de su organización: el presidente de “la Federación Estatal de Profesores de Enseñanza Religiosa (FEPER) de España”. Explícamelo, por favor.	質問 1: ロサダ先生からいただいた 2011-2012 年度の年間指導計画書の内容を日本語に翻訳したものを、ある教育関係の雑誌において出版したいと考えています。その雑誌は、各小学校と中学校に 1 冊ずつ配られる予定です。その雑誌の読者は、日本の小学校教員と中学校教員たちです。この年間指導計画書についての解説をするにあたって、まずロサダ先生の現在の「スペイン全国宗教教員組合代表」というお立場について知りたいので、ご説明をお願いします。
Losada: Es una organización sindical de defensa de los intereses laborales de la profesión. Para mí es un gusto poder hablar de ello, pero no tiene incidencia directa, digamos, sobre lo académico. Es una organización federada estatal con organizaciones por comunidades autónomas y yo ahora llevo la coordinación. a nivel estatal. Pero es sindical, estrictamente de problemas laborales y jurídicos de la propia profesión. Porque nosotros, los profesores de religión en España, tenemos un problema grave jurídicamente, somos docentes en la enseñanza pública contratados por el estado o la comunidad autónoma, es decir por la administración pública. Pero, hay una supervisión y una propuesta inicial por parte de la autoridad religiosa. Y nos crea una situación difusa, una línea de difícil equilibrio entre la administración pública y las autoridades religiosas, y la legislación laboral española.	回答 1: 教員の労働条件を弁護するための組合組織です。それについてお話しできることは私にとっては嬉しいことですが、アカデミックな内容に直接の影響はありません。それぞれの自治州に組織をもつ国全体の組織で、現在、一部交代制になっています。今、私はこの組織の全国レベルの調整を行っています。でも、これは労働組合で、厳密には労働に関する問題、この職業（宗教科目を担当する教員）の法律的な問題を扱います。 なぜなら私たち、スペインの宗教科目を担当する教員には法的に深刻な問題があるからです。私たちは国や自治州といういわゆる行政機関に雇用された公教育に携わる教員であるにも関わらず、宗教当局から教授内容の基礎部分の提案を受け入れるとともに、監督されています。そのことが、行政機関と宗教当局、そしてスペインの労働法との間のバランスをとるのが難しい、不安定な状況を作り出しています。 したがって、私たちは公務員ではありません。つまり国の教員組合には属していません。実のところ、教育に携わ

Entonces, no somos funcionarios, es decir, no pertenecemos al cuerpo docente del estado, en el sentido funcionarial de la palabra, no somos del cuerpo docente de enseñantes, y tenemos, digamos, una regulación un poco específica y ciertas dificultades laborales. Por eso, tenemos una organización, ... hay varias organizaciones, yo estoy en una, de tipo sindical. Los sindicatos en el sentido español, no en sentido norteamericano, son para defensa de los derechos laborales, se trata de una organización de defensa de los trabajadores,	る教員組合には属しておらず、特殊な調整のいる、ある種の労働上の困難がつきまとう立場にあるのです。それで、組織がいくつもあって、私はその 1 つ、労働組合の類の組織にいます。スペインの労働組合は、北アメリカのものとは意味が違い、労働権を擁護する、いわゆる労働者を守るための組織です。
Murakoshi: Como el nombre de este instituto es "Instituto de Educación Secundaria Ágora", pienso que es un tipo de centro experimental que propone métodos educativos al gobierno de Extremadura para buscar una figura verdadera de qué es la enseñanza. Por lo tanto, ¿profesor Losada puede mostrar los métodos que aplican a la enseñanza de la religión, que practica en el instituto?	質問 2: この学校の名称は"Instituto de Educación Secundaria Ágora"なので、この学校はエストレマドゥーラ自治州の学校教育の在り方に対して、とくに各教科の教授法を提案する研究所なのではないかと考えています。そのため、このアゴラ校で教える立場にあるロサダ先生は、宗教の教授法についてエストレマドゥーラ自治州に対して提供する立場にあるのですか？
Losada: Los métodos… oficialmente las cosas vienen… para la materia de religión vienen de las autoridades religiosas de cada confesión. Entonces aquí, para la religión católica es la conferencia episcopal, para la religión evangélica es el secretariado de la conferencia evangélica, para el judaísmo…, son cuatro las religiones que tienen convenio con el estado.	回答 2: 宗教の授業で 扱う方法や内容は、公的にはそれぞれの宗教の宗教当局によるものです。そういうわけで、カトリックについてはカトリック司教協議会が、プロテスタントについては、その協議会の事務局、ユダヤ教のためには…。スペインには、国との協定がある宗教が 4 つあります。
Murakoshi: Es decir, en tu caso, ¿tienes que seguir la política de la conferencia episcopal, que marca las directrices de la enseñanza de la religión católica a nivel nacional? O, ¿el gobierno de Extremadura te dirige con un programa autonómico? ¿Qué marca más tu línea didáctica, el nivel nacional o el autonómico?	質問 3: つまり、ロサダ先生の場合、国全体のカトリックを統括するスペイン・カトリック司教協議会の方針にしたがうことになるのですか？それともエストレマドゥーラ自治州のほうから、このような方針で教育しなさいという指示があるのですか？国の方針と自治州の方針のどちらにしたがうのですか？
Losada: Eso es una de las dificultades de los profesores de religión, que tenemos una línea muy difícil, incluso jurídicamente es un motivo de… Pero bueno, si puedo explicar un poco. El currículum, la programación, viene del convenio, del pacto entre el estado con las conferencias religiosas, las autoridades religiosas de las cuatro confesiones que tienen convenios establecidos, que son islam, judaísmo, las iglesias evangélicas y la iglesia católica. Oficialmente, ya hay una publicación oficial de la programación. Entonces yo tengo una programación católica, porque yo doy la religión católica. Esto, la programación del curso 2011-2012 que le he enviado es la adaptación mía de la programación al centro.	回答 3: それが宗教を教える教員の難しいところで、法律的にみてもその境界線はとても難しいのです…。ちょっと説明してみましょう。 カリキュラムや授業計画については、国との協定が成立している 4 つの宗教の宗教当局、つまり、イスラム教、ユダヤ教、プロテスタント教会、カトリック教会との合意のもとに成り立っています。公的には、正規（各宗教公認）の学習指導要領が公表されています。私はカトリックの宗教の授業をするので、カトリック用の学習指導要領を持っています。以前に送った 2011-2012 年度の年間指導計画書は、この学校のために私が編集したものです。
Murakoshi: ¿Quién te ha autorizado esta programación? ¿El director del centro? Me gustaría saber, a quién has mostrado tus temarios basados en el programa, al gobierno de Extremadura o al gobierno central? O, si el director del centro te da consentimiento, ¿puedes publicar oficialmente esta programación?	質問 4: この年間指導計画書をオーソライズしたのはこのアゴラ校の校長ですか？この年間指導計画書に基づいて授業をやりますということを、誰に対して示しているのですか？自治州ですか？それとも国ですか？あるいはこのアゴラ校の校長が認めれば、この年間指導計画書が公的なものとして公表されることになるのですか？
Losada: Sí, hay, en primer lugar, una programación oficial de la asignatura para todo el Estado que la realiza la autoridad religiosa de cada religión y que es referente obligatorio. En segundo lugar cada profesor de religión realiza la programación para su centro, que es una adaptación de la anterior, con la aportación o ayuda de las editoriales, con la propuesta de actividades y la propia habilidad del profesor. Esta programación de Centro se entrega en la jefatura de	回答 4: はい、最初に国全体のために宗教科目の正規の学習指導要領を作成するのはそれぞれの宗教当局で、これは当然のことです。次に各々の宗教教員が、出版社の助けを借りたり、自分の教育経験や能力を生かしながら、先の正規の学習指導要領を編集して、各学校に適した年間指導計画書を作成します。この年間指導計画書は教務責任者に渡され、学校全体の年間指導計画書に編入されます。それが学校の学務委員会に、わたしの場合であればアゴラ中等教育学校の学務委員会によって認められます。その後、エスト

estudios para su supervisión y se incorpora a la programación anual del centro. Es aprobada por el Consejo Escolar del Centro, en mi caso el Consejo Escolar del IES ÁGORA. Posteriormente es remitida a los servicios de inspección de la administración educativa de la Junta de Extremadura. Este el proceso habitual y general, y también es el proceso de mi programación. Es el mismo proceso que para las demás asignaturas del plan de estudios, con la diferencia de que la primera programación la realiza el propio Ministerio de Educación del Estado Español en vez de la autoridad religiosa. He de hacer, no obstante una observación: En la realidad casi ningún jefe de estudios, casi ningún inspector ni autoridad religiosa, revisan en la práctica la programación que hacemos los profesores. En cuanto a la programación de religión del IES ÁGORA habrás podido observar que los tres primeros cursos, primero, segundo y tercero, siguen más de cerca la programación oficial, son más confesionales. Incluso los verbos, si ves los verbos…, En cambio cuarto, en el cuarto curso yo tomo más distancia respecto a la programación. Yo utilizo una razón práctica y didáctica para esquivar, para evitar la crítica de la autoridad religiosa, es que.., es la de que no hay tiempo material de seguir la programación completa. Y, luego hay exigencias tanto por la ley de educación como por la propia programación de la autoridad religiosa de adaptar la programación al aula. Ahí entra bastante en juego, cómo decir, la imaginación, la iniciativa del profesor…, básicamente. A la hora de definir los objetivos concretos, el desarrollo de la clase, el método, sí que hay mucha libertad, cómo decirlo, no tenemos una presión suficientemente cercana como para que nos condicione. Luego hay otra ventaja. Es que la religión no entra en los exámenes de fin de etapa, en los exámenes oficiales de fin de etapa no entra la religión. El fin de etapa es el final de la ESO, el final de bachillerato. Entonces, me da respiro no tener que cumplir, no tener que llegar necesariamente con un programa acabado. Tiene otros inconvenientes, pero tiene esa ventaja. Y entonces eso me permite, me permite acercarme al alumno. Es decir, entrar más de cerca, o escuchar más al alumno y poder buscar el hilo..., que halle... cómo decir... la palabra clave... Algo me suena a Freire, la metodología de Freire, de Pablo Freire, ¿no?, pero, de lejos, claro. La didáctica a través de las palabras claves, palabras significativas.	レマドゥーラ自治州の教育行政監査部門へ送られます。これが通常の一般的なプロセスで、わたしの年間指導計画書のプロセスでもあります。他の科目の授業計画も同じプロセスで、違うところは、基本的な計画を立てるのが宗教当局ではなくて、スペイン教育科学省だというところです。次のようなことが言えると思います。実のところは、学校長も宗教当局の監査委員も、教員が作成した年間指導計画書に基づいて授業実践をしているかどうかについては確認していません。 アゴラ中等教育学校の宗教の年間指導計画書に関しは、はじめの3年間を見てもらうと、第1学年、第2学年、第3学年の内容はスペイン・カトリック司教協議会公認の学習指導要領に近いもので、より特定の宗派性が強いです。一方4年目、第4学年の学習指導要領はそれまでの3学年と比べるとかなり異なっています。また、宗教当局からの批判を回避するためには現場で起きている事を説明します。すなわち、すべての学習指導要領の内容を網羅する時間がないということです。 それから、年間指導計画書を教室で実践するうえでは、教育に関する法律や、宗教当局による正規の学習指導要領からの強い要求にも応えなければなりません。また、基本的に教師の想像力や独創力などが大きく影響してきます。具体的な目標、授業の展開、その方法などを決める際には多くの自由があります。つまり、こうしなければならないというような大きな圧力はありません。 それから、他にも有利な点があります。宗教科目は期末テストに含まれません。公式の期末の試験には宗教科目は入りません。期末試験とは、中学校卒業試験、高等学校卒業試験です。そのようなわけで、予定した計画を必ずしも終えなくてもよいことが私を安心させています。 不都合な点もありますが、利点はほかにもあります。というのも、生徒にこちらから近づくことができることです。つまり、生徒により近い距離で、生徒の話を聞きます。そうすると、キーワードを言いながら、話の筋道を探すことができます。 フレイレの教育方法論、パウロ・フレイレ[17]のものをほんの少し参考にしたかもしれませんが、ほんの少しですよ。キーワード、重要な言葉を用いて展開する教授法です。
Murakoshi: Me parece que tiene mucha originalidad el cuarto curso de tu programación del año académico 2011-2012. Me gustaría que me comentaras este punto.	質問5: ロサダ先生の2011-2012年度の年間指導計画書のなかでは、とくに第4学年に独自性がみられるので、その点について教えてください。
Losada: Por eso, mi programación tiene de..., está tomada de la oficial, luego sigue una manera propia y en general en secundaria, a los profesores de secundaria, las autoridades religiosas nos respetan más que a los de primaria. Hay diferencia. Tenemos más autonomía en la educación. Decir que, en realidad, yo creo que el resto de compañeros hacen un poco como yo, cada uno a su aire, a su manera, ¿no? Pero tienen la misma libertad.	回答5: 私の年間指導計画書はカトリック司教協議会公認の学習指導要領を参考にしつつも、自分のやり方になっています。一般に、宗教当局は初等教育の教員よりも中等教育の教員を尊重しています。初等教育と中等教育では違いがあります。 中等教育を担う私たちは初等教育の教員に比べるとより自立性をもっています。実際、中等教育の他の教員たちも私のように、各々が各々のやり方で行っていると思います。皆、同じ自由裁量をもっています。

En primaria, no, en cambio, en educación primaria no. También hay una formación inicial, la competencia académica inicial también es diferente. Los de educación primaria tiene unas 300 horas de formación religiosa, de contenido religioso, exigido, unas 300 horas de formación. Y los profesores de secundaria tenemos al menos una diplomatura o licenciatura religiosa, de ciencias de las religiones. Es decir se requiere una titulación académica universitaria de grado en ciencias de las religiones o en estudios religiosos para ser profesor de religión en educación secundaria. A veces, para la cuestión práctica tienen más habilidad, los profesores de primaria, pues tienen mayor formación didáctica. Además son niños mucho más pequeños, necesitan cosas más concretas. En la didáctica tienen mejor formación ellos. Pero a la hora de plantear el contenido y la propia libertad del profesor para ejercer la enseñanza, estamos más sueltos nosotros en secundaria.	一方、初等教育はそうではありません。初等教育は違います。初等教育の教員養成課程があり、その資格も違います。初等教育の宗教教員になるには宗教の内容に関する養成課程 300 時間の受講が必要です。300 時間の養成課程は必須です。中等教育の宗教教員は少なくとも宗教学の免許状か学士号をもっています。つまり、中等教育の宗教教員になるためには、宗教学か宗教研究の大学での学位取得が必要です。 ときに、授業実践に関しては初等教育の教員のほうがより多くの教授法を会得しています。子どもたちはずっと小さいし、具体的な内容が必要です。教授法においては彼らのほうがよいトレーニングを受けています。しかし、教授内容の計画時間や、教職に従事するうえでの教員自身の自由度に関しては、中等教育に携わる教員のほうがずっと縛りが少ないです。
Murakoshi: Tengo interés por el cuarto curso, que has diseñado con mucha originalidad en tu programación.	質問 6: ロサダ先生の作成したこの年間指導計画書のなかで、とくに第 4 学年の内容に独自性がみられるので、わたしはこの部分に関心があります。
Losada: Pues, mira, sobre el cuarto curso, lo primero que tengo que quiero decir, es que esta programación la hicimos inicialmente otro profesor y yo, profesor que está en otro centro, que se llama Universidad Laboral, que es instituto también, ¿eh? A pesar del nombre, instituto de secundaria. Y, el planteamiento lo hicimos conjunto. No es propio mío, no es exclusivo, ni algo cerrado, algo oculto mío, no, no, no. Y, luego el desarrollo, sí es particular porque en la programación solo están esbozados los contenidos. Es como apuntes de sugerencias. Son sugerencias, digamos, de contenido. Tienen ya algunos años, es decir que llevamos aplicando esto, 7, 8 años desde el 2000… no más, desde el 2000 aproximadamente. Lo que pasa es que somos muy sensibles a la actualidad, a la actualidad del tiempo del momento, y entonces eso varia mucho la práctica, el contenido de un año a otro varia mucho, porque los acentos cambian. Esta programación es imposible darla entera en clase. Entonces, de unos años a otros varia mucho dónde va, dónde se pone el acento. Y, luego depende del grupo, si un grupo elige este bloque, y te centras sobre este bloque, no da tiempo prácticamente para los demás. Luego, en realidad, también pasa otra cosa. Es que de alguna manera se ve todo, pero desde el punto de vista elegido, desde el acento, desde el eje, digamos, elegido, que, al final, te las apañas para ir viendo un poco todo, más o menos, unas cosas con más detalles, otras menos, desde el tema que partas. Partas de dónde partas, acabas, o intentas de alguna manera, verlo todo, pero bueno, todo con límites. Todo con muchos límites, ¿eh?	回答 6: 第 4 学年に関して、最初に言わなくてはならないのは、この年間指導計画書は当初、「ウニベルシダ・ラボラル」にいるもう一人の教師と共同で作りました。「ウニベルシダ・ラボラル」という名前ですが、公立の高等学校です。それで、この年間指導計画書の作成は 2 人で行ったものです。私だけのものではないし、独占もしていませんし、閉鎖的でもなければ、隠しているわけでもありません。 それから、授業展開は、個人的なものです。この年間指導計画書には大体の輪郭しかありませんから。この年間指導計画書は提案の覚え書のようなものです。これらは内容に関する提案です。もう何年も経ちました。これを授業に使いはじめて 7、8 年、いいえ、もっと長いです。2000 年頃から使っています。 実際、私たちは現状、つまり現代の実情をとても敏感に感じとって、実際の授業で扱う内容は毎年大きく変わります。なぜなら強調する箇所が変わるからです。この年間指導計画書のとおりに授業をするのは不可能です。それで、どのように授業をするか、どこを強調するかについては毎年大きく変わります。また、生徒集団にもよります。もし、ある生徒集団に対して特定の部分をしっかりやろうとすると、現実的には他の部分をみる時間がありません。 それから、実は他の要因もあります。なんとかすべての内容を網羅するには、的を絞ったり、強調点や中心を変えたりして、最終的にほぼすべてを少しずつ見られるように調節しなければなりません。どこから始めるかによって、詳細に学ぶテーマと概観するテーマがでてきます。どこから始めても、終わるときにはなんとかすべてのテーマをみられるように努力しますが、何にでも限界はありますからね。どんなことでも多くの制限がありますでしょ？
Murakoshi: A propósito, ¿a qué parte del temario correspondería la clase de primero de bachillerato, que he visto a primera hora de hoy?	質問 7: ちなみに、今日、最初に授業見学した高等学校 1 年生の内容は、この年間指導計画書のなかのどのあたりに相当しますか？
Losada: Tendría que ver con el último punto del programa. Sobre la sexualidad no hemos hablado, hemos hablado sobre el matrimonio.	回答 7: プログラムにある最後の個所に関係しています。「性」については話しませんでしたが、「婚姻」について話しました。
Murakoshi: Y, la clase que hemos visto a segunda hora, de primero de la ESO, ¿a qué parte del temario	質問 8: それでは、次に見学した中学校 1 年生の授業内容は、この年間指導計画書のどこに相当しますか？

correspondería?	
Losada: La segunda hora sería el primer tema de primero, la primera hoja. (*Acercar al alumno el hecho religioso como una realidad universal que impregna las culturas.*) El título empieza… no… bueno, miento,... una mentira. Tenía intención de hablar de esto, pero no hemos hablado de esto, no lo hemos tocado. Eso era mi intención, pero recuerda que hemos abierto el periódico y hemos partido de otra cosa. Entonces, hemos hablado de ritos, ahora tengo que localizar yo, no sé si… Hemos hablado de ritos de ceniza y de la Cuaresma. Luego también, con el primero objetivo, que es acercar al hecho religioso, aquí no tanto universal cuanto en local. Estábamos viendo el hecho religioso. Lo que hay que hacer, lo que tú me pides es lo que yo tendría que tener efectivamente elaborado en ficha, y diciendo a qué objetivos corresponde desarrollar, con qué procedimiento debería ser, qué competencia básica desarrolla, etc.	回答 8: 2 限目は、1 枚目の 1 番目のテーマ（「文化に根付いている普遍的現実としての宗教的現象に触れること」です。タイトルは…、違いますね、間違いました。これについて話したかったのですが、話せませんでした。そのテーマには触れていません。私の意図はそのテーマを話すことでしたが、新聞を開いて、他の方向に話が進んでしまいました。そのため、宗教的儀式について話しました。（年間指導計画書の該当部分を）探さなくては。どこだったかな…。「灰の式」と「四旬節」[18] について話しました。それから 1 番目の目的「宗教的現象に触れること」として、あらゆる場所にある宗教的現象というより、この地方の宗教的現象についてみました。 あなたの質問に答えるには、授業中に何を展開しなければならず、どの基礎的能力を伸ばすかなどを含め、授業を展開する目的について述べた計画書を実際に用意しなければならなかったということですね。
Murakoshi: Elaborar la ficha previamente es la manera japonesa. Las clases que se realizan en Japón son más restringidas debido a rigidez del plan de estudios. Planificamos, por ejemplo, la clase de la manera siguiente. En los primeros 5 minutos desarrollamos una actividad y luego en los 20 minutos siguientes realizaremos otra actividad. Así que, en mi mente tenía el método japonés. Y por eso, te he preguntado de esta manera.	質問 9: 授業計画書を求めるのは日本人のやり方なのです。日本の学校における授業はかなりリジットで、授業の最初の 5 分で何をやる、次の 20 分で何をやるというように計画します。私の頭のなかには、日本のやり方が前提としてあったので、これまでのような質問の仕方をしました。
Losada: Aquí también hay muchos cursillos donde hay que aprender hacer todas estas cosas, lo que pasa es que es un trabajo enorme, y yo tengo algunas fichas, pero no todas. No me resulta posible al día porque son grupos muy distintos, muy dispares. Luego, un truco, la experiencia. El truco de la experiencia, que llevo muchos años…	回答 9: ここでも授業計画書の作成を学ぶための講座はたくさんあります。ただ、とても大変な仕事ですので、いくつか記録がありますが、すべてを用意しているわけではありません。全く異なる集団を対象にしているので、日々準備するには無理があります。それに、私には経験による秘訣があります。長い間教師をしていますから。
Murakoshi: ¿Los profesores de la asignatura de religión en España siguen un modelo didáctico como el tuyo?	質問 10: スペインの宗教科目では教員たちは、ロサダ先生と同じようなかんじで授業をしているのですか？
Losada: Los de secundaria más o menos lo harían como yo. Cada uno, cada uno con sus dominantes personales, ¿no?, con sus aspectos...	回答 10: 中等教育の教員は、だいたい私と同じようにしています。それについては、それぞれが個人的に得意とする方法で行っています。
Murakoshi: Entonces, como suponía, los profesores en España tienen bastante autonomía, ¿verdad?	質問 11: やはりスペインでは教師の自立性が高いのですね。
Losada: Es así en secundaria, ¿eh?, en cambio en primaria, primaria es más rígido. En primaria, ya lo he dicho antes, en primaria, en primer lugar, durante todo el curso, tienen obligación de asistencia a cursos de formación continuada, de formación permanente, los profesores ¿no? con monitores que envía la autoridad religiosa, la delegación diocesana. En primaria, ¿eh? Luego, no solo les enseñan digamos didáctica, desarrollo dinámica de las clases, y a veces, con las recetas concretas, las actividades concretas, también incluso el calendario de las actividades y, entonces está mucho más controlado y es mucho más controlado… Consiguen que las clases sean vivas. Pero nosotros, de verdad, gozamos de más libertad, se puede hablar más también, es decir que el alumno, según va creciendo, tiene más capacidad de escucha... Entonces, nuestras clases, ya digo, están menos preparadas, o menos que las de primarias, y ESO.	回答 11: 中等教育の場合ですよ？一方、初等教育では柔軟性はありません。初等教育の場合は、先ほども言いましたが、まず第一に、教員たちは通常の授業をしながら、宗教当局から派遣された指導員の行う教員養成課程にも義務で出席し続けなければなりません。初等教育の場合ですよ？それから、教授法だけでなく、ダイナミックな授業展開の仕方とか、時には具体的な方法や活動も教えますし、年中行事なども含まれます。それでかなり管理された状態にありますが、その結果、授業に活気はあるかもしれません。 しかし、私たち中等教育の教員は、確かに、より自由を享受しています。生徒が成長するに従って、より話ができるようになるし、理解力も上がります。したがって、中等教育の授業は先ほどお話したように、初等教育のための授業よりは準備が比較的少なくてすみます。
Murakoshi: Ya he entendido la existencia de	質問 12: ロサダ先生の授業内容の独自性は中学校第 4 学年

originalidad que tiene el cuarto año. En el programa aparece cuatro puntos que me interesa especialmente: “la moral”, “la convivencia humana”, “ecología” e “igualdad y diferencia entre el hombre y la mujer”. Quería conocer estos puntos, y, en qué parte pones énfasis, me gustaría conocer los detalles.	にあることはもう理解しているのですが、特にその第 4 学年のトピックとしてあげられている、「道徳」、「人間の共生」、「エコロジー」、「男女の平等と相違」の 4 つについて教えてください。ロサダ生生が、そのなかで特に重きを置いている点があればもう少し詳しく教えてください。
Losada: No, no especialmente… A menudo les cuesta entender que estos aspectos sea materia de religión.	回答 12：いや、特には…。大抵これらの事柄が宗教の授業で扱われることを理解するのは生徒にとって難しいことです。
Murakoshi: Desde un punto de vista japonés, hay muchas cosas en común entre los temarios de la asignatura de educación para la ciudadanía y la religión. Me ha sorprendido.	質問 13：日本人の私から見ても、これらの項目はシティズンシップ教育教科と共通点があることなので驚きました。
Losada: Sí, claro. Sí, creo que coinciden, estos contenidos están en educación para la ciudadanía, claro, sí, sí. Con algunos matices, digamos, en la medida que nosotros intentamos darlo en algunos momentos con lo específico de la religiosidad cristiana, y lo abrimos a las otras religiosidades, esa búsqueda es un poco específica, ¿no? Es decir, más que nada… cuando planteamos un poco la búsqueda de sentido, ¿no? Si no cuando… es verdad que si hablamos de las situaciones de hecho, o de derecho, de derecho humano, de derecho jurídico, es lo mismo evidentemente, no nos diferenciamos mucho de la educación para la ciudadanía. Lo que, bueno, la educación para la ciudadanía, sabéis, no sé si sabéis que tiene un problema en España, y de hecho se ha cambiado la… bueno, se ha anunciado que van a cambiar la norma, alguno de los contenidos concretos, los contenidos que afectan al divorcio, al aborto, a las formas matrimoniales. Y, también el tema de eutanasia… Aquí, no hay regulación para el final de la vida, para la muerte, la muerte pedida voluntaria, ¿no? Y hay grupos de presión que están pidiendo que se haga una legislación que afronte el problema del final, de la muerte, sobre todo, por razones médicas extremas, y lo que se llama eutanasia. La muerte digna, se llama. El tema de la muerte digna sería nivel de ciudadanía. Es el tema de la muerte digna. Entonces, ahí hay..., eso plantea problemas y las presiones religiosas han sido fuertes, en ese sentido, sobre el partido de gobierno. Ahora, ha anunciado cambios, pero no sabemos, intuimos, pero no sabemos con certeza los cambios. Pero, vamos, yo soy muy consciente de que son temas comunes, claro. Y como la educación para la ciudadanía es una asignatura obligada a los alumnos de tercero, claro, el tema nuestra es no hacer doblamiento, no doblar el contenido, entonces insistir un poco más bien en el enfoque, en el planteamiento. Es decir, el enfoque, plantear cómo, es decir, como una opción personal, o la capacidad personal de decidir tú como persona digna también sobre la convivencia humana, sobre la ecología, la muerte, etc. Pero no… bueno, una cosa es lo que tienes en mente de que quieres hacer el planteamiento y otra cosa es lo que puedes porque el diálogo..., es decir, si das importancia al diálogo, tienes que aceptar los riesgos, además que te puede llevar a otro tema, no diriges tú, no siempre, diriges tú el contenido global, el resultado, ¿no? Entonces, no suelo partir de tenerlo muy orientado pero bueno, excepto que hay veces que sí. Hoy traía el esquema, recordándolo del día anterior.	回答 13：はい、そうですね。確かに一致していると思います。これらの内容はシティズンシップ教育でも扱います、もちろん、はい。微妙なニュアンスを、といいますか、私たち宗教教員はキリスト教徒の信仰の特性についてある程度教えたいというのは確かですが、他の信仰についても視野を広げていけたらと考えていまして、そのような探求はちょっと特別なものですかね？というのも、本当のところ、法律、人権、法律上の権利のことについて話すとき、シティズンシップ教育と本質的には同じで、それほど大きなちがいはありませんよ。 というのも、シティズンシップ教育については、ご存知かもしれませんが、スペインでは問題があります。実際、もうすでに変わったか、いくつかの具体的内容について基準を変えていくという告知がありました。その内容とは離婚、中絶、婚姻制度に関することで、それから、安楽死の問題も含んでいます。 スペインでは、人生の終わり、死を迎えるにあたって制限がありません。安楽死とは自らの意志で死を求めることですね。それで、とくに過度の医療行為を根拠に、人生の最期、死の問題に立ち向かうための法制化を求めているいくつかの圧力団体があります。これがいわゆる安楽死で、尊厳死の問題もあります。尊厳死の問題はシティズンシップの領域でもあります。これが尊厳死の問題です。そのためここスペインでは諸問題が引き起こり、ある意味で政権を握る政党に対して宗教的圧力が強められてきました。現在の政権を握る政党（国民党政権、2012 年 2 月現在）は尊厳死に関して基準を変更すると告知しましたが、でも本当のところは、変更するのか確信はありません。 でも、私はこれらが（宗教教育とシティズンシップ教育とで）共通のテーマであることをよく自覚していますよ。また、シティズンシップ教育は 3 年生の必修教科でもあります。扱うテーマが重ならず、内容も重ならないようにと、問題の捕え方や提案の仕方に気を付けています。つまり、人間の共生、エコロジー、死などの人間の尊厳に関わる問題について決断する際の個人の選択の自由や個人的資質について、どのように問題提起していくかにこだわるということです。 しかし…、対話形式なので、問題提起したいと頭で考えていることと、実際にできることには違いがあります。つまり、もし対話形式を重視するならば、別のテーマに話が進むような危険も受け入れねばなりませんし、いつもグローバルな内容に導けるわけではないですよね？そういうわけで、いつも指導したい方向に生徒を導けるわけではありませんが、うまくいくこともあります。今日は前日の授業内容を思い出してもらうために授業の要旨を準備してきました。わかりやすかったですが、いつもこのようにうまくいくわけではありません。 その結果、学習指導案を書くのが難しいのです。つまり、事前に授業がどのような展開になるか予想できません。そうではありませんか？先取りできません。だから私は時々この年間指導計画書には限界があるということを自覚しま

Lo tenía muy claro, pero no siempre es así. Por eso, me resulta difícil escribirlo también por eso, es decir, yo no puedo anticipar demasiado el… el desarrollo, ¿no? No puedo anticipar. Entonces, por eso, a veces, yo soy consciente de que esto es una programación muy limitada porque es de sugerencias de temas, pero no desarrolla el contenido. No tiene afirmaciones, casi.	す。これはテーマの提案であり、授業内容について展開しているわけではありません。これだけで授業内容を確定することはできません。
Murakoshi: Tiene mucha originalidad en el programa, ¿verdad?	質問 14: この年間指導計画書には独自性がありますね？
Losada: Sí, sí, claro. Pero sólo son sugerencias. Luego el desarrollo, además en dos clases continuadas con un grupo va de una manera de un sentido, y con otro grupo va de otra manera, o no va. Por eso, escribirlo me resulta muy difícil, se me hace un mundo tenerlo que escribir.	回答 14: はい、そうですね。でもこれらは単なる提案です。それから授業の展開は、2 つ続ける授業があれば、ひとつはある見方をもってある方法で進み、もうひとつは他のやり方で進むか、進まないこともあります。ですから学習指導案を書いてくださいと言われると、それを書くことは大変難しいように思われます。
Murakoshi: Pensaba que existía de antemano una ficha porque el desarrollo de la clase para hoy era muy estructurado.	質問 15: 今日の授業では展開がとても分かりやすかったので、学習指導案があるのかと思っていました。
Losada: La primera, sí, estaba más organizada porque estaba iniciada con ellos y estaba pactado que hoy continuábamos, completábamos el tema. Ellos sabían mostrar interés por el tema. No habíamos acabado el otro día y habíamos continuado… En cambio con el grupo de los pequeños, no ha funcionado mi propuesta, y he tenido que buscar el camino de enganche para ellos. Entonces ahí ya es el recurso del momento la …habilidad para encontrar la palabra clave que dé pie a la explicación o al diàlogo. Cuando tratamos el tema este, de igualdad y diferencia de hombre y mujer, éste, sí suelen ser bastante sensibles. Es un tema que sí les gusta tratar normalmente, luego, crea dificultades durante el desarrollo… es frecuente, no sé. Es frecuente que crea dificultades en el aula, porque genera polémicas. Los alumnos se adhieren a las posiciones, a veces, o a justificar posiciones, y el… Pero, sí, suele enganchar… es de los que más engancha. De la sexualidad en clase de religión no les suele gustar mucho ¿no?, aquí hay diferencia con unos años atrás, era un poco el tema estrella, y ahora en cambio no, ahora se da una especie de indiferencia o de rechazo. Es verdad que ha cambiado muchísimo la sociedad española. Los primeros alumnos que yo tenía, de 15 años los alumnos, hace 26 años, tienen ahora 41, 42 años, no tienen nada que ver con los alumnos que ahora tienen 15 años es decir, la sociedad española ha cambiado muchísimo en ese sentido,...la llegada... nosotros... las cosas de la sexualidad estaban muy encorsetadas en clichés fijos, con la transición española de la transición política, la apertura al mundo, sobre todo a Europa, ¿no? ha hecho cambiar y evolucionar la mentalidad y las leyes, las normas, y eso. Sí, ofrecía interés el tema, incluso la propia mentalidad religiosa. A raíz, si os suena, del Concilio Vaticano II, los años 60, hizo evolucionar también la propia mentalidad de los creyentes cristianos, ¿no? Sí, despertaba, pero ahora está como..., bueno, ahí, ocurren dos cosas. Primero ha cambiado la mentalidad, y se dan por más sabidas las cosas, y luego hay una cierta indiferencia a la enseñanza de la religión, de…, sobre todo en temas sexuales. Hay una especie de prejuicio natural de rechazo,	回答 15: 1 時限目（高等学校 1 年生対象の授業）は、そうですね、比較的予定通りでしたね。なぜなら、既にこのテーマを始めていて、今日はその続きをやって、そのテーマを終えることももう話してありましたから。生徒たちはそのテーマに興味を示していました。先日終わることができなかったので、同じテーマを続けたのですが…。一方、小さい子どもたちの集団(2時限目の中学校1年生対象の授業）には、私の提案が機能しなくて、彼らをひきつけるための方法を探さなくてはなりませんでした。ですから、あれはそのときに思いついた手段でした。それで説明や会話を続けるためのキーワードを模索していました。 「男女の平等と相違」というテーマを扱うときには、かなりの思慮がもとめられます。大抵生徒たちはこのテーマについて話すことが好きですが、それを発展させる際によく困難が生じます、どうでしょう。論争になってしまうため、教室では困ったことになりがちです。生徒たちはそれぞれの立場に分かれて、時にはそれを弁護して…。でも、はい、すべてのテーマの中でも特に生徒が興味を持ちやすいテーマです。 「性」のテーマは、宗教の授業では生徒にあまり好まれませんね。何年か前には特に注目を集めていたテーマですが、今は違います。今は無関心または拒絶される事柄です。スペイン社会がかなり大きく変わったのは事実です。最初に私が受け持った 15 歳の生徒は、もう 26 年を経て、今は 41、42 歳になっていますが、彼らと現在 15 歳の生徒は全然違います。そういう意味でスペイン社会はずいぶん変化しました。以前、「性」はお決まりの型にはまった抑圧の対象でした。国政の転換とともにスペインも変わり、世界は開かれました。とりわけ、ヨーロッパは開放されましたね？人々の考え方、法律や規範は変わり、進歩しました。 私は「性」というテーマに関する宗教的思考様式自体を含めて、その重要性を指摘したことがあります。60 年代に開催された第 2 バチカン公会議によりキリスト教信者の考え方は進歩しましたね？人々はそれまでの考えを改めましたが、今は、2 つの事が起こっています。1 つ目は考え方が変わって、物事はよく知られるようになりました。そして 2 つ目は、宗教教育へのある種の無関心、特に「性」というテーマに対する無関心です。 「性」の問題についての教会の立場に対して、当然のことながら、拒絶というある意味で当たり前の偏見があります。そういうわけで、公的には宗教の代理人のような立場にある私にとってもこの「性」の問題を扱う興味を失うわけです。 実際のところ、それほど関心をかきたてるようなテーマでもないし、もしくは私が「性」というテーマへ興味を抱

casi natural, a las posiciones eclesiales sobre esta cuestión, y entonces a mí en cierta manera como representante de una religión oficial, ¿no?, pierde ya el interés en esa cuestión. Entonces, la verdad es que no es un tema vivo, y que despierte mucho interés, o yo no consigo llevar un tema con interés referente a la sexualidad. Así, como, sí ha parecido tener interés el tema matrimonial, planteado como formas de convivencia, etc., pero luego la sexualidad no consigo enganchar con los chicos, no…Pero no hago una afirmación genérica…	くようちまく誘導しきれないのだと思います。同居の形などを考えてみることで、「婚姻」というテーマに興味を抱かせることはできました。でも、「性」というテーマでは子どもたちの心を捕えることはほとんどできません。生徒全般においてそうなのか断言はしませんが…。
Murakoshi: La mayoría de los estudiantes tiene interés por la sexualidad, ¿no?	質問 16: 生徒の多くは性について関心がありますよね？
Losada: No, conmigo, no en mi clase. Ellos, sí suelen ya.. y de hecho... tienen mucha información. Yo tampoco intento aportar información porque, iba a decir, saben más que yo, ¿no? Mi tarea más bien es cuestionar o aglutinar, o dar coherencia un poco a la información, ¿no? Pero me resulta difícil el diálogo con ellos en tema de sexualidad. Pero, no hago una afirmación, es decir, no sé los otros profesores, no sé, en otras clases.	回答 16: いいえ、私のクラスではありません。生徒たちは、「性」に関して大抵すでに知っていて、多くの情報を持っています。私は性についての情報を与えるつもりはありません。なぜなら、私より彼らの方が知っていると言われますしね？むしろ私の仕事は、生徒に質問したり、意見をまとめたりして、単なる情報に論理的な一貫性を与えることです。でも、「性」というテーマで生徒たちと対話するのは難しいことです。でも、そう断言しているわけではありません。というのも、ほかの教師たちがクラスでどうなのかは私には分かりませんから。
Murakoshi: Pero, el tema que has tratado en la clase de hoy corresponde a esta parte del programa, ¿no?	質問 17: 今日の 1 時限目の高等学校 1 年生対象の授業で扱ったテーマは、この年間指導計画書のなかのこの部分ですよね？
Losada: Hoy lo hemos tratado, sí, pero el matrimonio, más que la sexualidad, la sexualidad no la hemos tocado hoy. Hemos tocado los matrimonios. Pero no hemos tocado la sexualidad, ni las formas de convivencia no institucionales, no institucionalizada en las sociedades. Luego, esto, a mí personalmente este tema me gusta mucho, pero suele resultarles arduo a los chicos. Excepto ahora, pienso que ahora tengo, voy a tener, mejor ocasión por la reciente ley que ha surgido en España, de reforma laboral, afecta a todos estos aspectos, de justicia social, de condiciones de vida, etc. Pienso que va a tener mejor enganche, ahora en unos días. Pero a mí, personalmente, sí, me interesa dialogar sobre estos conceptos. Aunque no son unívocos, es decir, no tienen solo una idea, caben muchas, ¿no?, pero si me interesa. Conceptos, es decir, de desigualdades sociales, de igualdades, la búsqueda de igualdad social, etc. Entonces, implica evidentemente una ética tanto del trabajo como de la gestión de empresa, de…, entonces, si me…A mí, sí, me interesa mucho, pero, para los chicos resulta arduo. Entonces, cuando consigo enganchar, aprovecho. Pero, no… no sé. No es fácil porque hay como un prejuicio anti-político aquí en los chicos, es decir, en cuanto algo suena a política, yo le tengo que decir, no quiero hablar de la política partidista, de partido, sino de la política como concepto de ciudadano, es decir, de tarea del ciudadano, de construir la sociedad, ¿no?, Sí, cuando se habla así, bueno… Y luego, cuando me interrogan, dicen “¿esto tiene que ver con la religión?”. Hay por lo menos dos cosas, ¿no? Una, primera es que las religiones, están constituidas como sociedades también dentro de la gran sociedad común. Y, segunda, estas cosas preocupan a las religiones, toda la… la construcción del mundo, de la sociedad preocupa a todas las religiones.	回答 17: 今日扱ったのは、「性」というより「婚姻」で、今日は「性」について触れていません。「婚姻」について触れました。「性」について触れませんでしたし、社会で合法化されていない、制度化されていない共同生活の形態についても触れませんでした。 それから、これ（「人間の共生」というテーマ）は、個人的に私がとても好きなテーマですが、子どもたちにとってはいつも難しいテーマです。現時点では難しいですが、もうすぐこのテーマを扱うよりよい機会に恵まれると思います。というのも、スペインでは労働法の改正が行われ、社会的公正や生活条件などの観点がみな盛り込まれました。近いうちに取り上げたいと思います。 私は個人的には、この（「人間の共生」というテーマに含まれる）概念について、生徒たちと対話することに興味があります。これらは常に同じ意味をもつわけではないので、つまり 1 つの考えだけを持つわけではなく、いくつも解釈し得るでしょ？なので、興味があります。この場合の概念とは、社会的不平等、平等、社会的平等の追求、などです。そうすると、当然のことながら、それは倫理を意味します。仕事の倫理や、会社を経営する倫理など…、そういうわけで…。私にとっては、とても興味があるのですが、子どもたちには難しいテーマです。ですから、生徒をひきつけられるなら、うまく利用したいです。 しかし、まぁ、わかりません。ここでは子どもたちの中に反政治的な先入観のようなものがあって、政治に関する話をするたびに、派閥中心の政治とか政党の話を私はしたいのではなく、市民という概念についての話をしたい、とあえて言う必要があります。すなわち、市民としての務めとか社会を築くというようなことです。 ですがそのように話すと、生徒たちは「それは宗教と関係があるの？」と私に質問します。少なくとも 2 つのことがありますね？1つ目は、諸宗教（集団）は全世界的社会のなかに築かれたひとつの社会ということです。2 つ目は、諸宗教が危惧していることです。世界や社会のなかで宗教（の意義や役割）をどう説明するかということについて、すべての宗教は懸念しています。 それから、宗教の信仰者としてその倫理はどこに根拠を置くか、という議論がありますでしょ？むろん、社会倫理

Y luego está el tema, es decir, dónde fundamentar la ética desde el punto de vista creyente de las religiones, ¿no? Evidentemente la ética social… Es decir, tiene un asentamiento jurídico, racional, laico, por así decir propio de la sociedad, derecho de ciudadano, es un asentamiento, pero como creyentes tienen un asentamiento por lo menos vinculado a lo divino, a Dios y a los Dioses. Pero, ya digo, para ellos es un poco arduo, ¿eh? Pienso que… a mí, sí, me gusta, pero… no siempre sale. La ecología, sí, es un tema sensible. Suelen desarrollarlo con grupos de trabajo. Se mueven mucho, ellos investigando. Se ayudan y se apoyan en las ciencias naturales, entonces, sí, bueno… Lo que pasa es que… bueno… que tenemos poco tiempo, la verdad es que...no siempre llegamos a los temas.	としては…。そうですね、法律的、合理的、非宗教的なよりどころをもっていて、いわゆる社会固有のよりどころといえば、市民の権利です。しかし、信仰をもつ者にとっては、少なくとも人間の力を超えたもの、一神や多神に関係した心のよりどころというものがあります。しかし、先ほど述べたように、生徒たちにとってはちょっと骨の折れるテーマですね。私は好きなのですが、いつもそうではなく…。 「エコロジー」、はい、これもデリケートなテーマです。いつもグループ活動を通して授業を発展させます。彼ら自身が調べることで、授業がよく展開します。自然科学の助けを借りて、それに基づいて授業をします。実際のところは、あまり時間がなくて、いつもこれらのテーマまでたどり着けるとは限りません。
Murakoshi: ¿Qué significa “la sensibilidad ecológica de las religiones” en el cuarto año de la ESO, en el programa?	質問 18: 年間指導計画書の中学第 4 学年の内容にあげられている「自然環境に対する感受性」とはどういうことですか？
Losada: “*La sensibilidad ecológica*”, es decir, que las religiones tienen una sensibilidad ecológica, yo creo que sí, la tienen. Es decir, ecología sólo respecto a la naturaleza, del medio ambiente, ¿no? Y la mayoría de las religiones sí que muestran una sensibilidad hacia el medio natural… lo que es la naturaleza en sí, la valoración de la naturaleza. Sí, vosotras habíais entendido como que las religiones estuvieran dentro de la ecología, no, no eso, sino que las religiones tienen sensibilidad ecológica.	回答 18:「自然環境に対する感受性」というのは、つまり、宗教が自然環境に対して繊細な感受性をもっているかということで、私は確かにもっていると思います。「エコロジー」というのはまさに自然や自然環境のことを指していますね？大部分の宗教は自然環境に対する感受性を示しています。自然そのものに対して敏感であるし、自然を尊重しています。 生態学という枠の中で、どのように宗教を考えるか、ということだとあなたは解釈されたように思いますが、違います。宗教が自然環境に対して繊細な感受性を持っているか、ということです。
Murakoshi: Me has señalado dos direcciones web de materiales didácticos. ¿Qué características tienen?	質問 19: ロサダ先生から、教材についてこの 2 つのウェブアドレスを教えてもらったのですが、これはどのような性格をもつものですか？
Losada: Estas son direcciones de recursos digitales para la clase religión que proporciona el propio ministerio de educación para la asignatura de religión. Estas…, una web de recursos, hay muchas ¿eh?, por citar algunas. Yo éstas las utilizo con cierta frecuencia, bastante frecuencia porque ofrecen muchas actividades, por ejemplo, sobre todo, para los chicos de secundaria, más que para los de bachillerato. Ofrecen recursos activos, responder preguntas, juegos de componer un puzzle, crucigramas… Me permite distraer la clase y centrar también sobre el tema escogido… y hacer activa la clase, es decir, tienes al chico con el ordenador haciendo una tarea, con la que aprenden. Sobre todo hay muchos recursos sobre todos los temas.	回答 19: これらは、宗教の授業のために教育科学省自身が提供しているデジタル教材のウェブアドレスです。これらは…、教材のウェブのひとつで、たくさんありますよ？私はこれらをかなり頻繁に使います。様々な活動を提供してくれるため、高校よりも中学校の生徒のためにとりわけよく使います。参加型の教材を提供していて、質問に答えたり、パズルを組み立てたり、クロスワードのゲームなど…、楽しい授業にする手助けをしてくれますし、テーマに 集中させたり…。授業を活発にして、つまり、コンピューターを使って何かをしながら学べるわけです。その上、すべてのテーマの教材がたくさんあります。
Murakoshi: ¿Tú utilizas estas páginas con frecuencia?	質問 20: ロサダ先生はこのサイトをよく使うのですか。
Losada: Sí, sí. Son interactivos, es… la mayoría de ellos son interactivos, los recursos. También hay editoriales…Abundan mucho los bíblicos, es decir, ejercicios sobre la biblia, sobre los textos sagrados, cristianos. Hay muchísimos, ellos. Y luego, cultura general sobre las otras religiones, pero son muy elementales, muy… muy superficiales. Pero sí, ahí hay muchos recursos. Yo... con los más chicos los utilizo más que con los mayores. Luego hay también aquí, de las editoriales, pero, bueno… si no lo tengo puesto, es verdad que… la programación no me figura…	回答 20: そうです。インタラクティブで…、それらの大部分はインタラクティブな教材です。出版社のものも…、聖書に関するものはたくさんあります。つまり、聖書、キリスト教の神聖な文章の練習問題です。それらはとてもたくさんあります。それから、他の宗教を取り扱った文化全般のものもありますが、とても初歩的で表面的です。ですが、そこにはたくさんの教材があります。年上の生徒たちよりも子どもたちとの授業でそれをよく使います。それからそこには出版社のものもあり、ここに載せてないものは…。
Murakoshi: Me gustaría conocer el transfondo, y el proceso de creación de estas páginas. ¿Por qué el MEC recomienda utilizar estas páginas?	質問 21: このサイトの背景や成り立ち、どうして教育科学省がこのサイトをすすめているのかについて教えてください。

Losada: Porque estamos dando clase dentro del ministerio, es decir, yo estoy dando clase en una institución pública y con los alumnos públicos, en horario público, entonces, me tiene que facilitar el ejercicio de la profesión. Crea dificultades por la cuestión de la confesionalidad, es verdad, pero desde el principio, ¿no?, pero al mismo tiempo nos tiene que permitir el desarrollo de la actividad, y entonces sí que nos proporciona los recursos. Lo que es pasa es que no los desarrolla él, ¿eh? No los desarrolla el MEC, ni siquiera los paga el Ministerio de Educación.	回答 21: なぜなら、私たちは教育科学省の管轄内で授業をしているからです。すなわち、私は公立学校で授業をしており、生徒は公立学校の生徒で、時間割も公のものです。そのようなわけで、教育科学省は私たちが授業をするために便宜を図る必要があります。宗派の問題から困難が生まれることは事実ですが、それは当然のことですよね？それと同時に、教育科学省は授業展開の手助けをすべきであり、それに見合った方法を提供しています。ただ、実のところ、教育科学省はこの教材サイトの内容を開発しているわけではありませんし、教材開発のための費用も負担していません。
Murakoshi: ¿Quién crea estas páginas?	質問 22: 誰がこのサイトを作っているのですか？
Losada: Los propios profesores que ofrecemos esta actividad, las editoriales ofrecen asesoramiento y recursos didácticos. El ministerio... pide permiso, etc., y está autorizado a publicarlo.	回答 22: 教員たちが自分たちでこのような活動内容を提供し、出版社も指導方法や教授法を提供しています。教育科学省は許可を出すなどして、一般公開する公式な許可を出します。
Murakoshi: Entonces, ¿el MEC sólo ha puesto las direcciones que tengan los materiales didácticos? ¿Eso no significa que recomienden de una manera un poco obligatoria usar los materiales?	質問 23: それでは、教育科学省はこれらの教材に関するサイトをリンクさせているだけということですか？教育科学省は積極的にこれを使いなさいといっているわけではないということですか？
Losada: No, digamos, nos facilita esta. Pero no impone porque luego uno se mueve con los recursos y hay recursos muy diversos desde varios puntos de vista… Las editoriales ofrecen sus direcciones, así todas las editoriales tienen grupos de trabajo, hay grupos de profesores que elaboran también sus recursos propios, también se publican. Muy a menudo aquí. Esto lo que sirve es un poco de vértice de una pirámide de muchos enlaces. Entonces aglutinan un poco, tú vas encontrando enlaces, y muy a menudo encuentras enlaces de colegios, ya es decir, una programación de un colegio, unas actividades de un instituto, están colgadas ahí y desarrolladas en una web aparte, que esta es una colección de enlaces en realidad. La junta de Extremadura también tiene algunos recursos, cuando pinchas Extremadura. Extremadura no pone religión. No tiene enlaces especializados. No lo tiene especializado en religión. Entonces es más directo acceder desde el ministerio. El ministerio que te ofrece la religión y las religiones, los dos enlaces ya organizados. La junta nuestra no nos ha facilitado un enlace de este tipo, la junta de Extremadura. Pero, hay muchos, ¿eh? La verdad es que hay mucho material. Yo lo que encuentro es algo infantil, es decir, hay mucho material para los más pequeños.	回答 23: 違います。言ってみれば情報にアクセスしやすくしてくれています。しかし、義務的なものではなく、使う教材は 1 つではないですから、いろいろなアプローチ方法の様々な教材があります。出版社もアドレスを持っていて、すべての出版社は教材研究のグループを持っていますし、教員集団も独自の教材を作って一般公開しています。 私はよくここを見ます。これはたくさんの URL が集められた、ピラミッドの頂点のようなものです。そういうわけで、集められたリンクを訪れて、他の学校の授業計画、高校の活動などをそこから探せます。これはリンクがたくさん集めてあるサイトで、それをたどって広げていけるわけです。 エストレマドゥーラ自治州も教材に関するサイトを持っていて、「エストレマドゥーラ」をクリックするとそれが見られます。エクストレマドゥーラのサイトには宗教のカテゴリーはありませんし、専門リンクもありません。宗教に特化したサイトはないのです。ですから、私は教育科学省のサイトから直接アクセスします。教育科学省が提供しているのは、1 つの宗教を扱った“ la religión ”といくつもの宗教を扱った“ las religiones ”の 2 つのリンク集で、どちらもきちんと構成されています。私たちの自治州、エストレマドゥーラ自治州のものはこのように 1 つにまとまっておらず、使い勝手がよくありません。 でも、たくさんありますよ。ほんとに、教材もたくさんあります。私が見つけたのは幼児対象のもので、というのも、教授対象が小さければ小さいほど多くの教材があります。
Murakoshi: ¿Estas páginas del MEC son para la ESO?	質問 24: この教育科学省のサイトは中学生用なのですか？
Losada: Este, vale para todos. Hay que ir… según… no tenemos, mira, podíamos entrar si quieres, te sale… primero, te sale la fórmula, la religión ya, para primero, segundo, tercero. Hay un árbol jerárquico, tú vas eligiendo. Primaria, secundaria, bachillerato. Primero, segundo, tercero. Luego por temas y por temas ya te van a ofreciendo actividades y contenidos variados… En español, claro. Está web esta en español evidentemente. Algo en inglés también. Puedes encontrar recursos en inglés también.	回答 24: これは、すべての生徒が対象です。使ってみましょう。まず始めに、決まった選択肢がでてきますから、「宗教」を選ぶと、1 年生、2 年生、3 年生と枝分かれしていて、それから選んでいきます。小学校、中学校、高校。1 年生、2 年生、3 年生。それからテーマごとにも、テーマによって様々な活動や内容を選ぶことも可能で…。もちろん、スペイン語です。このページは言うまでもなくスペイン語です。英語のものもあります。英語の教材も見つけられます。
Murakoshi: Me interesa la última parte (“*Actividades complementarias y extraescolares*”), que me parece que es muy original. ¿Podría comentar algo más?	質問 25: ロサダ先生が作成した年間指導計画書のなかで、最後のこの部分（「補完的校外活動」）にとてもオリジナリティーがあって興味があるので、この部分について詳しく教えてください。
Losada: Esos, cada año, sí. Esas varían cada año.	回答 25: それらは毎年、はい。行き先は毎年変えています。
Murakoshi: No entendía muy bien el segundo punto,	質問 26: この 2 番目の“ *Viaje-Visita al Monasterio de*

"Viaje-Visita al Monasterio de Guadalupe". ¿Por qué uno de los objetivo de este viaje es "acercamiento a un lugar emblemático desde el punto de vista antropológico y religioso"?	*Guadalupe*" がよく分からなかったのです。グアダルーペ修道院に行くということに、「宗教人類学の象徴的場所へのアプローチ」という目的があるということがよく分からなかったので、教えてください。
Losada: Guadalupe es lugar emblemático de la religiosidad de Extremadura y de la identidad como región, como comarca, entidad nacional. Entonces hay otros centros, así. Yo generalmente intento cada año recorrer los lugares un poco significativos de la religiosidad local de Extremadura. Guadalupe está a unos 100 km de aquí, hay que coger el autobús, y desplazarse con los alumnos. Y normalmente tengo habitualmente convenida la visita con algún guía o con la dirección del monasterio, y entonces nos esperan, nos suelen explicar la visita.	回答 26: グアダルーペはエクストレマドゥーラの信仰を象徴する場所で、地方としてのアイデンティティーを象徴する場所であると同時に、国の象徴的場所でもあります。それから、このような場所は他にもあります。私は毎年エストレマドゥーラ地方の信仰にとって重要な場所を訪れるようにしています。グアダルーペはここから 100km 程の場所にあり、バスに乗って生徒と移動しなければなりません。いつもはガイドか修道院の指導員にお願いして、見物の説明をしてもらいます。
Murakoshi: ¿Vas a acompañar a los alumnos en estos viajes?	質問 27: ロサダ先生は生徒たちの旅行に同行されるのですか？
Losada: Sí, sí, sí, claro. Me toca organizarlo todo, decir que, estas actividades son de mi departamento, mi departamento soy yo, no hay más. No es como lengua que son 9 ó 10 profesores, lengua española, o en inglés que son 5 ó 6.	回答 27: はい、もちろんです。私がすべて準備します。というのも、これらの活動は私の学科（宗教科）のものですから、そして、私の学科には私しかいません。語学科のようにはいきません。スペイン語教員は 9、10 人いるし、英語教員も 5、6 人います。
Murakoshi: Me gustaría ver las fotografías para observar cómo organizas a los alumnos durante el viaje.	質問 28: このような生徒との視察旅行の様子がよく分かる写真があれば、是非みせてください。
Losada: Tengo de las que… Estas no se han realizado todavía. Tengo de las visitas al Prado, y tengo de las anteriores, no de éstas. Tengo de otras anteriores, Museo del Prado y al Monasterio de El Escorial, tengo un poco de todas. Pero no de dentro, no del interior porque no se puede hacer fotos en los interiores.	回答 28: 写真があるのは…。これら（2011-2012 年度の年間指導計画書に挙げてある内容）はまだ実施していません。プラド美術館の訪問の写真や、それ以前のものはあります。でもこれらはないです。以前の写真は、プラド美術館やエル・エスコリアル修道院のもの、すべて少しずつあります。でも、内部の写真はありません。建物内部は写真撮影が禁止されているので、中で撮影したものはありません。
Murakoshi: ¿Hay algunas fotografías en que pueda ver el entorno y los alumnos? Es que me gustaría conocer cómo se comportan los alumnos.	質問 29: 生徒たちがどんな様子で歩いていくのかなど、全体の雰囲気が分かる写真はありますか。
Losada: En mi espacio web del instituto, mi espacio web, tengo colgada la foto del grupo a la puerta del Prado, y a la puerta de El Escorial. Estas te las puedo remitir por correo eléctrico. Luego de algún viaje más, tengo también de la visita a los dólmenes. Están a 100 km de aquí también, en la frontera de Portugal. Dólmenes son unos monumentos funerarios bastante antiguos, de hace 5 o 6 mil años, son megalitos. Es decir, piedras enormes, en forma de mesa. Tengo algunas fotos, sobre... Te hago llegar algunas fotos.	回答 29: 学校のホームページの私のスペースに、プラド美術館やエル・エスコリアルの扉で撮ったグループの写真が載せてあります。これらの写真はあなたに E メールで送れます。それから、いくつか旅行もしていて、ドルメンの写真もあります。それもここから 100km、ポルトガルとの国境にあります。ドルメンは葬儀のための建造物で、とても古いものです。5、6 千年前のもので、巨石です。巨大な石で、机みたいな形です。いろいろな写真がありますので、いくつかあなた（村越）に送ります。
Murakoshi: ¿Se les pone a los alumnos algunas tareas concretas para el viaje? ¿Los alumnos tienen que buscar un lugar significativo, o sólo realizar la visita con el guía?	質問 30: 旅行先では何か具体的な課題が出されるのですか？生徒がどこかの場所を探さなくてはならないというような課題がありますか？それともガイドとともに名所を見物するだけですか？
Losada: Hay veces, al Prado con guía, por ejemplo. Con guía pero adaptado a secundaria, es decir, hay una banca, que la fundación de la banca financia programas educativos y facilita monitores que hacen visitas especializadas para ESO. Gratuita, casi gratuita.	回答 30: 場合によって、例えばプラド美術館はガイドと行きました。中学生の内容に対応したガイドです。というのも、銀行の財団が教育のためのプログラムの資金援助をしてくれていて、中学生のための特別な指導員を用意してくれます。無償か、ほぼ無償です。
Murakoshi: ¿Cuántos alumnos son? ¿Son muchos?	質問 31: 生徒はどのくらいの人数ですか？多いのでしょうか？
Losada: No, en un autobús. Unos 50 alumnos y suele acompañarme otros dos profesores. Siempre tengo que pedir a ayuda a otros profesores para que me acompañen porque no tengo compañero de religión.	回答 31: いいえ、多くはなく、バス 1 台程度です。生徒が 50 人くらいとあと 2 人の教員にいつも一緒に行ってもらいます。宗教教科には同僚がいないので、いつも他の教科の教員たちに手伝いを頼まなくてはなりません。
Murakoshi: Si es un grupo sin dividir, será grande. ¿Van todos juntos para realizar la visita sin dividirse?	質問 32: 1 つのグループとしては大きいですね。生徒を小さいグループに分けずに、全員で一緒に見物してまわるのですか？

Losada: Ese es un formato, otras veces lo hemos hecho por grupos de actividades, pero no es frecuente.	回答 32:それも一つのやり方ですが、場合によってグループ活動をさせることもあります、しかしそれほど頻繁には行いません。
Murakoshi: Pensaba que cada uno de los alumnos se comportaría de manera individual. Pero, en realidad, todos van juntos, de manera colectiva, ¿no?	質問 33: 生徒一人一人が個人的に単独行動をするのかと思っていました。実際には、そうではなくて、みんなで一緒に団体行動をするのですね？
Losada: Es que no es posible, algunos sitios no es posible. En dólmenes no hay nadie, por ejemplo, están en el campo. No hay a quién preguntar. Puede fotografiar, pero investigar preguntando a la gente, no es posible. En el Prado no te dejan. Hay tanta cantidad de visitantes, que no. Entonces "controladito" el grupo, ahí nos pone límite, sólo podemos ser 30 incluido los profesores. Nos coloca los auriculares para que no se oiga nada, para no molestar. Entonces no puedes dividir a menudo al grupo. Adaptándose a las circunstancias no… A los alumnos les gusta sobre todo porque salen del centro. Una aparente vacación. Aprende también, pero su intención no es aprender.	回答 33: 場所によっては不可能なのです。ドルメンは、何もないところなので誰もいません。質問する相手がいないのです。写真は撮れますが、人々に質問しながら調べるということは不可能です。プラド美術館もさせてくれません。訪問者が非常に多いので駄目なのです。それで、グループをしっかり「管理」して、人数制限もあり、教師を含めてたったの 30 人です。他の人に聞こえないよう、迷惑をかけないようにイヤホンをします。そういうわけで、集団を小さく分けることができないのです。ちょっと状況が許さない限り…。生徒たちがこのような活動を好むのは、とにかく学校から出られるからです。休暇みたいなものですね。学びもしますが、彼らは学ぼうと思って来ているわけではありません。

４．おわりに

スペインにおいて長く行われてきた宗派教育の実態を把握することを目的として、カトリックに基づく宗教科目の設置割合が高い、エストレマドゥーラ自治州のアゴラ中等教育学校を訪問した。そしてそこで行われている「宗教」科目の担当教諭から当該授業に関する聞き取り調査を行った。その成果が本稿にまとめられている。それらのうち、次の3点を重要な点として挙げることができる。

一つめは、カトリックに基づいた「宗教」科目の学習指導要領はスペイン・カトリック司教協議会が標準となるものを作成するとはいえ、個々の学校の教員が独自のものを作成できるという点である。二つめは、その教授内容や教授法については、中等教育に関する限り、自由裁量が認められているという点である。そして三つめは、単なる宗派教育を越えて、シティズンシップ教育との関連を視野に入れているという点である。ロサダ教諭の回答全体を通してわかるように、制度上、カトリックに基づく「宗教」科目だからといって、カトリックの価値や規範のインドクトリネーションがなされているわけではないのである。そこで、授業観察に基づいた「宗教」科目の授業実践についての考察とともに中学校における宗教教育とシティズンシップ教育との関係についての考察を、今後の課題としたい。

謝辞

授業見学をお許しくださった Ramón Gómez Pesado 校長、また聞き取り調査をお受けいただいた Jesús María Losada Martínez 教諭に感謝申しあげる。聞き取り調査に際しては、小橋さおり氏（コンプルテンセ大学大学院、スペイン語学・文学研究科博士課程）が同時通訳を務めた。また録音データ起こし、ならびに邦訳化作業に関して協力を得た。Ramón Gómez Pesado 校長、Jesús María Losada Martínez 教諭ならびに小橋さおり氏に対して、この場をかりて深謝の意を表したい。

注

1) 本稿は、平成 23 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C）課題番号 21530977、研究課題名「スペインの中学校における『宗教』教科および『シティズンシップ教育』教科の研究」の研究成果の一部である。

2) 1979 年 1 月 3 日に調印、同年 12 月 4 日に批准された“ Acuerdo Entre el Estado Español y La Santa Sede Sobre Enseñanza y Asuntos Cuturales ”のことである。

3) この詳細については、村越純子、「スペインの道徳教育」（渡邊弘編著、『学校道徳教育入門』、東洋館出版社、2007 年、pp.114-135）を参照。

4) これらの詳しい経緯については、村越純子、「スペインの義務教育制度におけるシティズンシップ教育教科の位置づけ―LOE 法に基づく中学校の学習指導要領の検討を中心に―」、『埼玉大学紀要　教育学部』、第 60 巻第 1 号、2011 年 3 月 30 日、pp.33-48、で述べている。

5) 1985 年に制定された「教育権に関する基本法」(通称 LODE 法 : Ley Orgánica del Derecho a la Educación）は、教育行政の地方分権化を認めただけではなく、「政府の助成金を受ける私立学校」(Centros privados Concertados)としてカトリックに基づく学校の義務教育段階について無償化を認めた。この学費無償である「政府の助成金を受ける私立学校」とは区別し、公立学校の事例を取り上げる。

6) 教育科学省 2008-2009 年度統計データ Curso2008-2009, E3. LA ENSEÑANZA DE LA RELIGIÓN CURSO 2008-09, E3.2. Distribución porcentual del alumnado según opción elegida en la enseñanza de religión, por comunidad Autónoma のデータから割合の高い自治州 3 つと割合の低い自治州 4 つを選択して作成した。参照した教育科学省サイトのウェブアドレスは以下のとおりである。
〈http://www.educacion.gob.es/dctm/ministerio/horizontales/estadisticas/indicadores-publicaciones/cifras/2011/cifrase3-11.pdf?documentId=0901e72b808589a3〉

7) 注 6 に挙げた教育科学省 2008-2009 年度統計データにより集計した。

8) 2011 年 2 月 25 日のアゴラ中等教育学校訪問における、 教科主任 Francisco Javier Rosado Castela 教諭および宗教科目担当 Jesús María Losada Martínez 教諭に対する聞き取り調査による。

9) 教育科学省 2010-2011 年度統計データ:Enseñanzas no universitarias. Alumnado matriculado.Curso 2010-2011 のなかの Alumnado Extranjero,Table2.Alumnado extranjero por enseñanza.Centros públicos と、教育科学省 2010-2011 年度統計データ:Enseñanzas no universitarias. Alumnado. Resultados académicos.Curso 2010-2011 のなかの Enseñanzas de Régimen General,Table2.Alumnado matriculado por enseñanza. Centros públicos に示されたデータを突き合わせて集計した。どちらも教育科学省公式ウェブアドレス
〈http://www.educacion.gob.es/horizontales/estadisticas/no-universitaria/alumnado.html〉よりアクセスできる。

10) アゴラ中等教育学校訪問は、現地研究協力者の一人であるエストレマドゥーラ大学教育学部の María J. Miranda Velasco 教授の仲介により実現した。

11) 2011 年 2 月 25 日のアゴラ中等教育学校における聞き取り調査のなかで、教科主任 Francisco Javier Rosado Castela 教諭により提示された学校内部資料による。

12) 注 11 に同じ。

13) Jesús María Losada Martínez 教諭により作成された 2011-2012 年度の時間割を翻訳したものである。授業観察の対象は、水曜日の高等学校課程 1 年（社会科学コース）、中学校課程 1 年 B 組、高等学校課程 1 年（科学技術コース）の 3 クラスである。なお、公立学校の生活時間には日本のような給食の時間がないことを示すため、2 回の休憩時間帯を削除せずに掲載した。

14) Jesús María Losada Martínez“ *Programaciones de Religión y Moral Católicas. Curso 2010-2011,*

DEPARTAMENTO DE RELIGIÓN, I.E.S.ÁGORA ”, En Cáceres a 24 de septiembre de 2010. および、Jesús María Losada Martínez“ *Programaciones de Religión y Moral Católicas. Curso 2011-2012*, DEPARTAMENTO DE RELIGIÓN , I.E.S.ÁGORA ”, En Cáceres a 6 de septiembre de 2011.なお、2011-2012 年度年間指導計画書の全訳は別稿において行う予定である。

15) 紹介された教育科学省のサイト・アドレスは以下のとおりである。
教材例 1 http://roble.pntic.mec.es/arum0010/#religion
教材例 2 http://recursos.cnice.mec.es/religiones/cas/index_alumno.htm

16) 2010-2011 年度および 2011-2012 年度の年間指導計画書 の中学校第 4 学年の内容として挙げられている。

17) Pablo Freire は Paulo Freire と同一人物で、ブラジルの教育学者 (1921-1997)。主著として、パウロ・フレイレ『希望の教育学』(里見実翻訳、太郎次郎社、2001 年)、パウロ・フレイレ『被抑圧者の教育学（新訳)』（三砂ちづる翻訳、亜紀書房、2011 年）などを挙げることができる。

18) スペイン語の“ Cuaresma ”は英語の“ Lent ”に相当し、カトリックの「四旬節」を意味する。それは、「灰の水曜日」から復活祭までの約 40 日間をさし、復活祭に備えてカトリック信者が断食をしたり、悔い改めを行う期間のことをいう。

(2012年 3月 31日提出)
(2012年 5月 18日受理)